様式 3-2

公　開　文　書

研究課題名 （研究番号 640）	九州地区小児外科疾患に関する臨床アンケート調査
当院の研究 責任者（所属）	奥村健児 （小児外科）
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	①独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院／副院長・上村 哲郎 ②国立大学法人鹿児島大学小児外科／教授・家入里志 ③佐賀県医療センター好生館小児外科／部長・山内　健 ④雪の聖母会聖マリア病院小児外科／診療部長・浅桐公男 ⑤大分大学医学部消化器小児外科学講座／教授・猪股雅史 ⑥麻生飯塚病院小児外科／部長・竜田恭介 ⑦鹿児島市立病院小児外科／部長・鳥飼源史 ⑧沖縄県立こども医療センター小児外科／副部長・楯川幸弘 ⑨北九州市立八幡病院小児外科／主任部長・新山新 ⑩福岡大学医学部外科学講座呼吸器・乳腺内分泌・小児外科／講師・小幡　聡 ⑪佐賀大学医学部附属病院小児科／講師・山田 耕治 ⑫北九州市立医療センター小児外科／主任部長・中村　晶俊 ⑬大分県立病院小児外科／部長・伊崎智子 ⑭宮崎大学医学部総合周産期母子医療センター／講師・中目　和彦 ⑮熊本赤十字病院小児外科・吉元　和彦 ⑯長崎大学大学院移植・消化器外科／教授・江口　晋 長崎大学大学院腫瘍外科／教授・永安　武 ⑰国立病院機構九州医療センター小児外科／科長・甲斐　裕樹 ⑱産業医科大学病院小児外科／准教授・江角　元史郎 ⑲国立病院機構小倉医療センター小児外科／医長・生野久美子 ⑳琉球大学病院第一外科／教授・高槻　光寿 ㉑久留米大学医学部外科学講座小児外科／主任教授・加治　建 ㉒熊本大学病院小児外科・移植外科／助教・本田　正樹 ㉓福岡市立こども病院小児外科／科長・林田　真 ㉔佐世保市総合医療センター外科(小児外科)／山根　裕介

	㉕県立宮崎病院小児外科／医長・三好　きな ㉖九州大学大学院医学研究院小児外科学分野・教授・田尻　達郎
本研究の目的	【背景】 　小児外科が扱う疾患は、頭頚部、胸部、腹部とほぼすべての臓器が対象となります。また、近年の出生前診断の発展により、診療対象となる年齢も胎児期から成人期を越えた、あらゆる年齢層の診療を手掛けることが必要とされます。さらに、小児外科疾患は、希少疾患や様々な合併疾患を有する症例も扱うことが多いため、関連する様々な診療科や多職種、大学病院などの基幹病院と地域を支える関連施設との緊密な連携と情報共有が極めて重要となってくる診療領域であるといえます。殊に、希少疾患においては必然的にそれぞれの施設における経験症例数は限られてくるため、適切な診断・治療および短期的・長期的予後に関する各施設の経験と現状をお互いに十分に把握、検討し、エビデンスを抽出していくことは、極めて重要なアセスメントです。 　臨床データに基づいた学術的解析のプロセスは、実臨床における小児外科疾患の病態の解明や新しい治療法の開発、特に頻度の低い難治性疾患の治療成績の向上の観点においても重要で、疾患の発生頻度や年次推移、地域差、および転帰などを正確に把握し、その資料を基礎に、多施設共同で行う必要があります。わが国の総人口の約 12%を占め、中核となる小児外科施設も多く存在する九州地区において、小児外科疾患に関連する臨床データの集積と解析から得られる情報の意義は大きいと考えらます。 【目的】 　九州地区における小児外科疾患に対する臨床データに関連するアンケート調査を実施し、データの集計、解析をすることによってエビデンスの抽出を図ると同時に、ここで得られた新たな知見により、今後の小児外科疾患の診断・治療の発展に寄与することを目的とします。
調査データ 該当期間	2028 年 12 月 31 日まで

研究の方法	本研究は、九州地区にある小児外科施設（九州小児外科研究会所属の 27 施設）が参加し、毎年1回臨床アンケートを行う調査研究です。この研究を行う際は、カルテ情報を参照します。得られたデータを用い、適切な診断・治療および短期的・長期的予後に関する各施設の経験と現状をお互いに十分に把握、検討し、エビデンスを抽出していきます。実際のアンケート対象疾患および調査項目は、毎年持ち回り制で当番施設が作成し、各施設からの回答を得る形で行います。集められたデータは当番施設が集計、解析を行い、九州小児外科研究会において発表します。また、論文で情報公開します。 2024 年のアンケートは、2014 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日に先天性胆道拡張症の根治術（胆管切除・胆管腸吻合）を施行した患者さんが対象です。
個人情報の取扱い	研究対象者のカルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、当院のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。 また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。 この研究によって取得した情報は、熊本市民病院小児外科の責任の下、厳重な管理を行います。 ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。 研究対象者のカルテの情報を共同研究機関へ郵送する際には、熊本市民病院にて上記の処理をした後に行いますので、研究対象者を特定できる情報が外部に送られることはありません。
本研究の資金源（利益相反）	ありません。
お問い合わせ先	熊本市民病院　小児外科　部長　奥村健児 電話：096-365-1711
備　　考	